

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 8 月 2 日(2024.8.2)

【公開番号】特開 2024-41637(P2024-41637A)  
【公開日】令和 6 年 3 月 27 日(2024.3.27)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-056  
【出願番号】特願 2022-146556(P2022-146556)  
【国際特許分類】  
A 63 F 7/02(2006.01)  
【FI】  
A 63 F 7/02 310 Z

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 6 年 7 月 25 日(2024.7.25)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

20

遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤を備えた遊技機であって、  
前記遊技盤には、前記遊技領域を流下する遊技球が進入可能な特定流路と、該特定流路とは別の特別流路と、を構成する特定ユニット部が設けられ、  
前記特定ユニット部の所定箇所には、前記特定流路よりも前方に位置する特定表示と、前記特定表示とは異なる表示であって、前記特別流路よりも前方に位置する特別表示と、が設けられたシール部が貼り付けられるものであり、  
前記特定ユニット部には特定形状部と特別形状部とが形成され、  
前記特定形状部は、前記シール部が前記特定ユニット部に貼り付けられた状態における前記特定表示の位置の近傍に形成され、  
前記特別形状部は、前記シール部が前記特定ユニット部に貼り付けられた状態における前記特別表示の位置の近傍に形成され、  
前記特定形状部及び前記特別形状部は、少なくとも前記シール部が前記特定ユニット部に貼り付けられていない状態で、前記特定ユニット部の前方側から視認可能とされ、  
さらに、  
前記特定流路及び前記特別流路を含んだ複数の遊技球流路に遊技球が進入することで、計数値を更新させることが可能な計数手段と、  
前記計数値が特定値に達することに基づいて、遊技機の状態を、遊技の進行を制限させる遊技制限状態に制御可能な遊技進行制限手段と、  
前記計数値が前記特定値に達する前に、前記計数値に関する特定報知を実行可能な特定報知手段と、  
遊技者によって演出態様を調整可能な演出調整手段と、を備え、  
前記特定報知として、特定報知画像を所定の表示手段で表示可能であり、  
また、前記演出調整手段による調整内容に対応する演出調整画像を前記所定の表示手段で表示可能であり、  
前記所定の表示手段で前記特定報知画像が表示される場合には、前記所定の表示手段の表示領域のうち、前記演出調整画像が表示される領域とは異なる領域で前記特定報知画像が表示可能に構成されている  
ことを特徴とする遊技機。

30

40

50

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来より、遊技機としてのパチンコ機は、枠体と、枠体に対して着脱可能な遊技盤とを備えており、遊技盤には、遊技球が流下可能な遊技領域を有するとともに、入賞口やアウト口などの各種の入球口、および、それら入球口に対応する情報表記を有することが知られている（例えば、特許文献1参照）。

10

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2022-049227号公報（段落[0062]、図9）

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、従来の情報表記と同等の構成では、例えば、遊技機の開発過程や製造過程にて複数の入球口の何れがアウト口であるか等を確認・点検する際に手間が掛かってしまい、利便性が不十分であった。

20

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、従来よりも利便性を向上させることができる遊技機を提供することにある。

30

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記した目的を達成するために、本発明の請求項1に係る発明によれば、遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤を備えた遊技機であって、前記遊技盤には、前記遊技領域を流下する遊技球が進入可能な特定流路と、該特定流路とは別の特別流路と、を構成する特定ユニット部が設けられ、前記特定ユニット部の所定箇所には、前記特定流路よりも前方に位置する特定表示と、前記特定表示とは異なる表示であって、前記特別流路よりも前方に位置する特別表示と、が設けられたシール部が貼り付けられるものであり、前記特定ユニット部には特定形状部と特別形状部とが形成され、前記特定形状部は、前記シール部が前記特定ユニット部に貼り付けられた状態における前記特定表示の位置の近傍に形成され、

40

50

前記特別形状部は、前記シール部が前記特定ユニット部に貼り付けられた状態における前記特別表示の位置の近傍に形成され、

前記特定形状部及び前記特別形状部は、少なくとも前記シール部が前記特定ユニット部に貼り付けられていない状態で、前記特定ユニット部の前方側から視認可能とされ、

さらに、

前記特定流路及び前記特別流路を含んだ複数の遊技球流路に遊技球が進入することで、計数値を更新させることが可能な計数手段と、

前記計数値が特定値に達することに基づいて、遊技機の状態を、遊技の進行を制限させる遊技制限状態に制御可能な遊技進行制限手段と、

前記計数値が前記特定値に達する前に、前記計数値に関する特定報知を実行可能な特定報知手段と、 10

遊技者によって演出態様を調整可能な演出調整手段と、を備え、

前記特定報知として、特定報知画像を所定の表示手段で表示可能であり、

また、前記演出調整手段による調整内容に対応する演出調整画像を前記所定の表示手段で表示可能であり、

前記所定の表示手段で前記特定報知画像が表示される場合には、前記所定の表示手段の表示領域のうち、前記演出調整画像が表示される領域とは異なる領域で前記特定報知画像が表示可能に構成されている

ことを特徴とする。

なお、本発明とは別の発明として、以下の手段を参考的に開示する。 20

(手段1)

外枠と、

前記外枠に開閉可能に設けられた本体枠と、

前記本体枠に着脱可能に設けられた遊技盤と、を備える遊技機であって、

前記遊技盤は、前面に遊技球が流下可能な遊技領域が形成される遊技板と、

前記遊技板の表側に設けられる区画部材と、を少なくとも有し、

前記区画部材は、前記遊技領域の外周を区画するものであって、

前記遊技領域の外周外側に位置するように設けられ、

該遊技領域の外周外側で分割された複数の区画部材片からなり、

前記複数の区画部材片のうちの少なくとも1つの特定区画部材片には、少なくとも側面 30  
を除いた前面に複数の細かな凹凸からなる凹凸部が形成されており、

前記区画部材片は、前記遊技板にビスで固定され、

前記特定区画部材片は、前記遊技板の表側から着脱可能にビスで固定されている

ことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

このように、本発明の遊技機においては、従来よりも利便性を向上させることができる  
。

40